

公益財団法人 日本心臓血管研究振興会附属

 **榊原記念病院**
SAKAKIBARA HEART INSTITUTE

後期研修医・専修医 募集案内

SAKAKIBARA HEART INSTITUTE
Recruitment of Residents

公益財団法人 日本心臓血管研究振興会附属

 **榊原記念病院**
SAKAKIBARA HEART INSTITUTE

所在地 〒183-0003 東京都府中市朝日町 3-16-1
代表電話番号 042-314-3111

お問い合わせ・お申し込み
<http://www.hospital.heart.or.jp/recruit/>
E-mail doctor@shi.heart.or.jp

日本の循環器診療をリードする 人材を育てる

子どもは時代の先端を行く循環器診療施設です。

救急診療、高度な手術、カテーテル治療、画像診断、先端医療などの領域でわが国の循環器診療をリードするハイボリュームセンターとしての地歩を築いて参りました。心臓病を胎児期から一貫して診療する立場から産婦人科も立ち上げました。急患を断らず、先端的なアメニティと設備を整える中で、患者志向性の高い診療は我々の誇りです。

診療に加えて教育、研究は子どもが最も大切にしているミッションです。これまでも多数の卒業生がわが国の循環器診療をリードする立場で活躍しています。新しい専門医制度や大学院にも対応できる多様な研修プログラムを用意しています。是非子どもが培った診療、教育環境のもとでスペシャリストとしての発展を目指して下さい。



榊原記念病院 院長
磯部 光章

榊原記念病院について

当院は、日本の心臓外科を開拓し心臓病治療のために尽力された故榊原仟先生が1977年に東京都渋谷区代々木に開設された循環器専門病院です。2003年12月には東京都府中市に移転しました。



実績

- 年間1300件を超える開心術(成人+小児)を行っている、日本で唯一の病院です。
- カテーテルインターベンション数や肥大型心筋症に対する経皮的中隔心筋焼灼術、経食道心エコー検査なども国内随一の症例数を誇っています。
- 小児循環器の診療においても日本でトップレベルを誇り、他県からも救急車や緊急ヘリなどで搬送されてきています。
- 2014年には産婦人科を開設し、心疾患を持つ妊婦さんや胎児を優先的に診療しています。
- 心臓リハビリテーションは国内でも最大規模を誇っており、心エコーやCT、核医学半導体検出器などの画像診断装置も最新の機器を導入して、診断から治療、そして社会復帰まで、最高レベルの医療を提供することが我々の使命と考えております。

こうした症例数のみならず、臨床研究施設として常に新しい医療技術の開発・普及に取り組んでいます。

待遇・福利厚生

給与：当院規定による

宿舍：専修医寮(単身者のみ)あり／無料

住宅補助：専修医寮に入居せず、自家保有住居又は賃貸住居に居住する職員(世帯主20,000円、非世帯主13,000円)支給あり

休日：日、祝日、第2・4土曜日

有給休暇：初年度(4月入職者)12日～

特別休暇：年末年始休暇(7日間)・夏季休暇(5日間)

社会保険：健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働災害保険 加入

賠償責任保険：医師賠償責任保険、勤務医賠償責任保険 加入

学会補助：国内は基本的に実費支給／海外は実費支給(上限50万円まで)

保育所：院内保育園あり、病児保育室あり

食堂：職員食堂あり(2017年リニューアル)

その他：ディズニーランド割引券(年1回健保)、みかん狩り(年1回健保)、健保指定施設割引制度



循環器内科



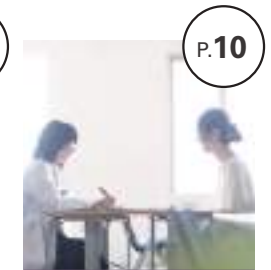
心臓血管外科



小児科



産婦人科



臨床遺伝科

専門医を目指し

循環器疾患のほぼ全てを短期間で学ぶ

豊富な症例をもとに、循環器臨床のほぼ全ての領域を経験することが出来ます。

経験や能力に応じて、個別のカリキュラムを計画することも可能です。

また、2018年度から開始された新専門医制度に対応して、多くの基幹病院と連携した後期研修プログラムを計画しています。

榊原で経験すること



1. 豊富な症例



2. 研究活動のサポート



3. 将来への支援

循環器のほぼすべての領域を経験でき、身近にいるスペシャリストが懇切丁寧に指導します。豊富な臨床経験は基礎や臨床研究の新たなヒントを生み、次代の日本を担う専門医を育てます。

貴重な経験を症例報告し、研究会、学会での活動を推奨し論文文化を進めます。国際学会での発表支援や院内研究助成などの制度もあります。

当院で引き続きキャリアアップを続けながらの社会人大学院進学や連携大学院制度、海外留学への道など様々です。あなたの希望が叶えられるよう支援することも我々の使命と考えています。

専門病院だからこそできる研修



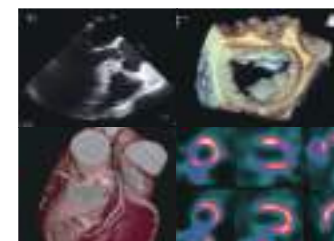
最先端の医療に参加する

経皮的動脈弁置換術(TAVI)や肥大型心筋症に対するPTSMAの症例数は、圧倒的で日本全体を牽引しています。ハートチームカンファレンスを通じて適応やストラテジーについて学ぶことができ、心臓外科医との密接な関係も魅力です。



オールラウンダーになる

経皮的冠動脈形成術(PCI)やカテーテルアブレーションはもとより、ペースメーカーや植込み型除細動器治療、心不全治療、末梢血管治療や血管外科医と共同の大動脈ステント治療など循環器のオールラウンダーといえる症例経験ができます。



画像診断を極める

経胸壁エコー、経食道エコーおよび術中エコーを通じて外科手術やストロクチャー治療のサポートを実践します。最新機器やソフトウェアを用いた心臓CT/MRI/核医学に触れることは、画像診断の魅力を十分に感じさせてくれます。



救急医療からリハビリまで

当院は東京都CCUネットワーク主要施設です。心不全管理について学び、またレジストリー研究にも参加することができます。理学療法士との洗練された心臓リハビリは、重症の心臓病患者の社会復帰をサポートし、その喜びと一緒に感じることができます。



副院長 循環器内科 主任部長
井口 信雄



副院長 循環器内科 主任部長
新田 順一



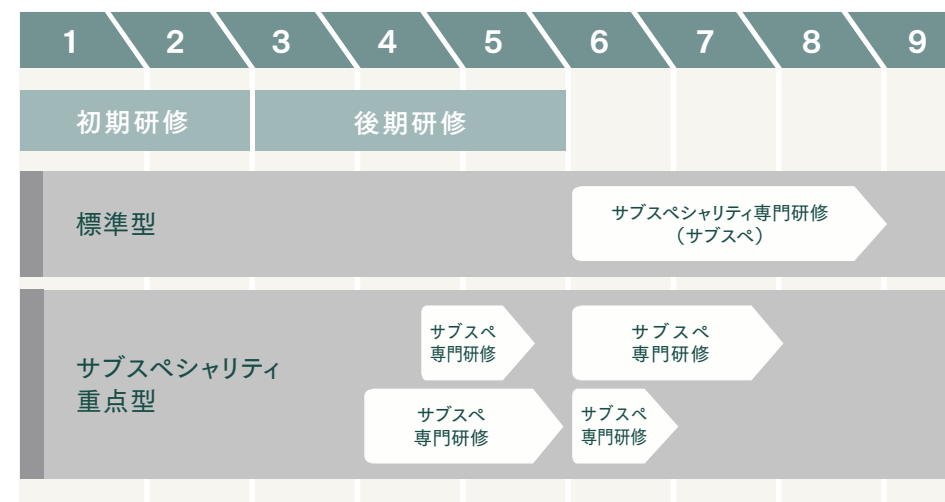
循環器内科部長 総合診療部 主任部長
長山 雅俊



循環器内科 主任部長
七里 守

新専門医制度に対応したカリキュラム

【医師経験年数】



■ 連携する基幹病院一覧

慶應義塾大学病院／国保旭中央病院／国家公務員共済組合連合会立川病院／順天堂大学医学部附属順天堂医院／昭和大学病院聖マリアンナ医科大学病院／多摩北部医療センター／東京医科歯科大学医学部附属病院／東京医科大学病院／東京女子医科大学病院／東京大学医学部附属病院東邦大学医療センター大森病院新潟大学医学部総合病院／日本医科大学付属病院／日本大学医学部附属板橋病院

※基幹病院との連携により、専門研修を当院で受けることができます。

後期研修医の方

新専門医制度に対応して、連携する基幹病院での内科研修と本病院での循環器研修を組み合わせ、内科専門医と同時に循環器専門医を目指すことが可能です。

内科認定医(専門医)取得済み(見込みも含む)の方

豊富な症例経験は、循環器専門医取得への近道となります。循環器専門医取得済みの方も個々の経験や希望に応じて、さらに専門的な個別のカリキュラムを作成することもできます。

■ 実績

	PCI	TAVI / PTSMA	Pacemaker / ICD	Ablation	経食道エコー	CCT / CMR / 核医学
2016年	892	107/38	271/57	190	1923	2714/605/1760
2017年	1060	184/45	293/87	289	2038	3084/626/1651
2018年	1001	227/29	269/79	349	2050	3152/564/1523

先輩医師からのメッセージ



自治医科大学医学部
薬理学講座臨床薬理学部門
内科学講座循環器内科学部門
教授
今井 靖 先生



東京大学医学部附属病院
循環器内科 助教
細谷 弓子 先生



帝京大学
循環器内科 講師
渡邊 雄介 先生

20年前榊原で多数の症例を初療から経過まで一貫して学ばせて頂いたこと、すばらしい恩師・同世代の先生方に巡り合えたことが財産であり基盤となっております。救急・重症患者を積極的に受け入れ一丸となって立ち向かう姿勢、小児科・外科との密な連携も魅力です。榊原での熱い研修には是非加わられることをお勧めします。

榊原記念病院での研修は急患も多く忙しい毎日でしたが、症例は非常にバラエティに富んでおり、先輩レジデントや各領域のエキスパートの先生方の助言を得ながら治療を進めていく中で、循環器内科医としての基盤を作って頂きました。学会発表も盛んな点、コメディカルとの連携が大変取りやすい点も素晴らしい環境だと思います。

私は循環器を志した医師3年目に、専修医募集に応募し入職しました。榊原では豊富な症例数と経験豊かな各分野のスタッフが揃っており、循環器臨床の基本からすべての分野にわたり研鑽を積むことができました。6年半榊原にお世話になり、その後フランスに留学いたしました。帰国後は帝京大学でTAVIチームを立ち上げて日々診療にあたっております。榊原での経験は自分の医師人生の中で大きな宝物です。

日本屈指の症例数 充実した環境で多くの経験を積む

心臓血管外科は成人・小児を含め、年間1300例の開心術を行なっています。
良い心臓血管外科医になるためには少しでも多くの経験を積むことが大切です。
他とは比べられない充実した環境で一緒に研鑽を積みませんか。

豊富な症例数と実績、教育



小児心臓外科



成人心臓外科



末梢血管外科

先天性心疾患、虚血性心疾患、弁膜症、大血管、更に末梢血管疾患やEVAR等非常に多彩な症例があります。
将来の心臓血管外科のリーダーを育てることが我々の責務だと考えています。

研修の特徴



充実した設備環境

手術室は4部屋あり、毎日平均成人4例、小児2例の手術が行われます。その他には、ハイブリッド手術室も完備されており、ステントグラフト治療や緊急手術にも対応しています。



多様な学びの機会

他職種クロストレーニングを通じてチームビルディング、リーダーシップについて学ぶ機会があります。また、専門医習得のために必要とするWetlabの実施、抄読会など学ぶ機会は充実しています。



他科との合同カンファレンス

毎朝、外科・内科・麻酔科・理学療法士の合同カンファレンスを行なっています。また、週に1度の手術検討会で方針が決定します。カンファレンスを通じて、基礎知識が身につきます。

研修医師からのメッセージ

心臓血管外科 成人 専修医
尹 亮元

私が榊原記念病院を選んだのはやはりその症例数の多さと、ここでしか見られない疾患・術式・技術があるからです。成人だけでも年間約900件の症例があり、担当症例は原則第一助手として参加し、症例によっては術者として執刀する機会も与えられます。毎日の手術カンファレンスでは、その日の症例に対する議論が交わされ質の高い知識を得ることもでき、ここでの一年は他施設の数年分に値すると言っても過言ではないと思います。是非この充実した環境で一緒に研修しませんか、お待ちしております。



心臓血管外科主任部長【小児】

高橋 幸宏

心臓血管外科主任部長【成人】
帝京大学 主任教授 兼務

下川 智樹



特任副院長

高梨 秀一郎

MESSAGE

心臓血管外科医になるために、更に向上するために、どこで学ぶのか。多くの症例を一流の施設で上を目指す仲間と共に経験を積むことは、必ず大きな自信へと繋がります。共に切磋琢磨して有意義な時間を過ごしましょう。

研修カリキュラム

1 年 次	2 年 次	3 年 次
-------	-------	-------

[成人研修例]

第1助手、大伏在静脈採取
末梢血管手術、開胸
カニューレーション

腹部大動脈瘤手術
ASD根治術、閉胸

弁置換術等の開心術
内胸動脈採取
(CABG、弁形成術)

心臓血管外科専門医取得はもちろんのこと、卒後年数を考慮し多くの症例が経験出来るように、成人心臓外科・小児心臓外科のローテーションを行っています。ローテーション後は、希望に応じてそれぞれの専門分野での研修に移行することも可能です。

■ 実績

	CABG	弁膜症	胸部大血管	複合手術	AAA	EVAR	末梢血管	小児開心術	小児非開心術
2016	205	224	169	214	43	34	156	382	44
2017	172	251	172	203	18	43	118	398	36
2018	215	275	194	209	47	37	129	330	30

先輩医師からのメッセージ

現在、榊原記念病院を卒業したたくさんの専修医が日本全国で活躍しています。学会などで出会う度、卒業生たちの輪が広がっているのを実感します。榊原記念病院は心臓血管病における「プロ」の集まりです。みんな手術が上手になりたいと思う気持ちは一緒です。でも本当の「プロ」に教わらないと間違った方向に進んでいく可能性があります。榊原記念病院にはたくさんのチャンスの原石が散らばっています。その原石をどのように拾い、磨いていくかは君たち次第です。世界に通用する本物の技術を榊原記念病院で学んでみませんか？

熊本大学 心臓血管外科 教授 福井 寿啓 先生



榊原記念病院には、理想となるような上級医や刺激し合える仲間達がたくさんいます。また手術症例数・質ともに日本一です。非常に質の高いトレーニングを集中的に受けることができます。臨床だけではなく、学会・論文発表も充実しています。長期休暇もあり、メリハリある生活を送ることができます。是非当院で共に切磋琢磨しませんか？病院一同、心からお待ちしています。

The University Of Chicago Department Of Cardiac Surgery Clinical Fellow 西田 秀史 先生



基礎から応用まで、先天性心疾患に関連した幅広い分野を短期間で学ぶ。

小児循環器医に必須の知識・技術を習得する基礎研修から

専門医としての技能研修まで、

先天性心疾患を中心に幅広い分野の症例を短期間で学ぶことができます。

小児科研修の特徴



1. 豊富な症例数

国内屈指の手術件数を誇る当院では、先天性心疾患に関連する幅広い分野を短期間で経験することが可能です。



2. 多彩な研修プログラム

研修年数から研修分野まで、要望に応じて多彩な研修が可能です。循環器病院ならではの他科研修も魅力の一つです。



3. 小児循環器専門医の取得

研修年数によっては、小児循環器専門医の取得を目標にさらに高度な研修を積むことが可能です。

小児科研修で経験できること



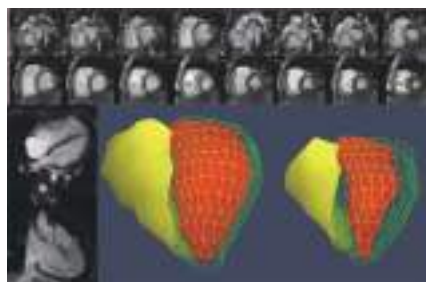
先天性心疾患手術

受け持った手術症例について術前評価から術後退院までの管理を通して行い、基本的な知識や技能の習得を目指します。また、全ての経過に携わることで小児循環器医としての責任感を養うことができます。



カテーテル検査／治療

カテーテルの基本的な操作から複雑な奇形心臓の診断まで、幅広いカテーテル検査の技術を身につけることができます。加えて、心房中隔欠損や動脈管の閉鎖をはじめとした様々なカテーテル治療を、経験豊富なスタッフの指導のもとで経験できます。



他科と連携した循環器研修

循環器内科のエコー班では、所属する小児科循環器医のもとで経食道エコーを含めた専門的な研修が可能です。MRIについても専門の小児循環器スタッフの下で撮影・解析方法を学ぶことができます。外部指導医を交えて行う胎児心エコーについても、随時研修が可能です。

1年を通して小児循環器分野を系統的に学べる定期勉強会や、標本を用いた各疾患の形態学の講義なども行っています。



小児循環器科 主任部長

嘉川 忠博



心臓血管外科主任部長 【小児】

高橋 幸宏

MESSAGE

小児循環器の分野で最も大切なこと、それは手術の質と量です。良好な成績のためには小児科医による画像診断、血行動態管理、カテーテル治療の協働作業も欠かせません。忙しいかも？… 当たり前です。ベッドサイドで寄り添い、カテーテルを動かし、エコープローブを持ってクオリティの高い臨床のシャワーを浴びましょう。使える小児循環器科医になれることを約束します。

研修カリキュラム

～1年	基礎研修	2年目以降	高度研修
指導医の下で病棟・PICU研修		指導医の下で病棟・PICU研修	
※2018実績(専修医／1年) 担当患者：100例		成人先天性心疾患研修	
◆心臓カテーテル：60-80 ◆運動負荷：10-20		不整脈、デバイス研修	
◆ホルター：30-50 ◆経胸壁エコー：150-200		ICU集中治療研修	
		カテーテルインターベンション研修	
		心エコー研修 (経食道、胎児エコー)	
		画像診断研修 (MRI、CT、シンチ)	

基礎研修で小児循環器医のジェネラリストとしての知識・技能の習得を目指し、2年目以降で専門医としての幅広い知識およびサブスペシャリストとしての技能習得を目指しています。研修期間については、基礎研修を中心とした3か月程度の短期から、サブスペシャリティ研修に特化した長期の研修希望まで、幅広い対応が可能です。

小児循環器修練施設群	関連施設	過去の専修医の所属元
・国立国際医療研究センター	・東京医科歯科大学 ・埼玉医科大学 他	北海道、青森、山形、宮城、新潟、茨城、栃木、千葉、埼玉、東京、神奈川、大阪、鳥取、島根、大分、宮崎の各都道府県の大学病院及び国公私立病院から幅広く研修を受け入れています。

■2018年実績	[主要な手術]	[主要なカテーテル治療]
◆先天性心疾患手術：438	◆VSD/ASD閉鎖術：112 ◆Norwood手術：6	◆心房中隔欠損閉鎖術：21 ◆血管塞栓術：34
◆小児カテーテル検査：407	◆TOF/DORV根治術：37 ◆COA/IAA：9	◆動脈管閉鎖術：8 ◆弁形成術：6
◆小児カテーテル治療：134	◆Glenn/Fontan手術：53 ◆TAPVC：6	◆血管形成術：64

先輩医師からのメッセージ

経験ゼロからのスタートでも、問題ありませんでした。

小児循環器医の経験が無い状況での研修で、ゼロからのスタートでしたが、最初は比較的理解しやすい病態の症例を多く担当させていただき、最終的には、経過の複雑な症例や成人先天性心疾患まで幅広く経験することができました。先天性心疾患の診療に没頭することができ、他大学出身の仲間と充実した日々を過ごすことができました。その時の経験、仲間や指導医とのつながりは現在でも自分の貴重な財産となっています。

順天堂大学 小児科循環器 助教 古川 岳 先生



“循環器専門病院での小児科”で、数多くの貴重な症例を経験できます。

私は平成18年4月から2年間、循環器小児科のレジデントとして研修していました。関東のみならず、東日本のほとんどの地域から紹介されてくる多くの症例を、知識・経験の豊富なスタッフの先生とペアで診療する研修スタイルは、私にとって非常に良いシステムでした。とても忙しい2年間でしたが、同僚のレジデントやコメディカルにも恵まれ、本当に充実した時間を過ごすことができました。10年以上経過していますが、間違いなく当時の経験が今の私の土台となっています。

宮城県立こども病院 木村 正人 先生

循環器・心疾患を持つ女性と子供に安心を。

“循環器専門病院での産婦人科”を学ぶ。

当院では、循環器疾患を持った女性に安心して診療を受けていただける場を提供すること、また児の心臓病が疑われる場合に、胎児期から出生後まで切れ目のない医療をおこなうことを目的に、2014年に産婦人科が開設されました。小児科・循環器内科・心臓血管外科・臨床遺伝科との協力体制のもと、全国でも数少ない“循環器専門病院での産婦人科”をしっかりと学ぶことができます。

研修上の特徴



1. 豊富な症例

周産期センターでも対応困難な症例の紹介も多数あり、豊富な症例を通して充実した研修が可能となっています。



2. 各種資格の取得が可能

日本産科婦人科学会のほか、各種資格取得に向けた研修が可能です。



3. 学会活動を支援

日本産科婦人科学会をはじめとした国内各学会はもとより、海外での学会発表も積極的に支援しています。

診療上の特徴



胎児心臓病

当院では年間50例以上の胎児心臓病の分娩があります。各症例について、胎児期の管理から分娩方針、出生後の治療等に関して関連診療科との合同カンファレンスを毎週おこなっています。



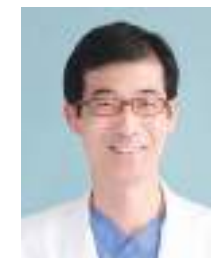
循環器疾患合併妊娠

心疾患の診断・治療技術の進歩により、先天性心臓病や不整脈等を持った女性で、妊娠・出産を希望される方が増えてきました。当院産婦人科は、関連診療科との連携の上、これらの症例を積極的に受け入れています。



出生前検査

出産年齢の高齢化にともない、出生前検査を希望する妊婦が増加してきています。当院では、臨床遺伝科との協力体制のもとにNIPTを実施しているほか、FMF有資格者によるNT等計測による初期スクリーニングなど、各種出生前検査をおこなっています。



産婦人科 部長 桂木 真司

PROFILE

平成7年、宮崎大学医学部医学科卒。周産期が専門。
得意分野：母体心臓病の合併妊娠。胎児心臓病のスクリーニング、診断。
新生児治療。胎児心拍数モニタリング。

産婦人科診療実績

産婦人科は開設後まだ日は浅いですが、2018年に分娩数が200例を超え、大きく発展しつつあります。胎児心疾患合併妊娠、母体心疾患合併妊娠が分娩に占める比率が高いことも当院の特徴です。

■ 当院分娩数実績

2016年：159件 / 2017年：194件 / 2018年：222件

先輩医師からのメッセージ

“循環器専門病院での産婦人科”で、数多くの貴重な症例を経験できます。

私は2016年度より産婦人科のレジデントとして榊原記念病院に赴任しました。循環器専門病院であることから、心疾患合併妊娠や胎児先天性心疾患といった、他ではなかなか診る機会がない症例を数多く経験しました。主治医制を採らず、一人一人に時間をかけて診察し、全員で方針を検討しながら診療にあたっているのが全症例について深く勉強できます。また超音波検査にも力を入れており、NTを始めとするFMF認定のライセンスや胎児心臓エコーなど出生前診断の技術も取得でき、周産期科医として成長するのにとても魅力的な病院だと思っています。

産科 非常勤医 小野 良子



臨床遺伝科

CLINICAL GENETICS

循環器に関する遺伝医療の先端を学ぶ。

2016年4月に臨床遺伝科が開設されました。

マルファン症候群、エーラス・ダンロス症候群、遺伝性不整脈、心筋症などの患者さんや妊婦さんを重点的に見ています。遺伝学的検査や遺伝カウンセリングも含め、診療各科の先生方や臨床心理士さんと協力しながら、家族も含めた包括的な診療を目指しています。患者会との交流も盛んです。



臨床遺伝科 森崎 裕子

PROFILE

昭和55年、東京大学医学部医学科卒、臨床遺伝専門医・指導医。遺伝子解析、遺伝カウンセリングを担当。

豊富な症例数と実績、教育

1. 遺伝学的検査/診療、マルファン症候群、ロイス・ディーツ症候群、エーラス・ダンロス症候群、遺伝性QT延長症候群、ヌーナン症候群、歌舞伎症候群、ファブリー病、遺伝性心筋症、染色体異常症(22q11.2欠失症候群 他) その他、豊富な稀少疾患症例を経験できます。
2. 遺伝カウンセリング/遺伝に関するあらゆる悩みや不安に対応しています。
3. 出生前診断 NIPT(母体血胎児染色体検査) 他

